



2023年2月8日

各位

会社名 ダイワボウホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 西村 幸浩
(コード番号 3107 東証プライム市場)
問合せ先 財務管理室長 花岡 博之
(TEL 06-7739-7300)

通期業績予想の上方修正及び配当予想修正(増配)に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期連結業績予想及び配当予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 830,000	百万円 27,360	百万円 27,500	百万円 18,600	円 銭 195.04
今回修正予想(B)	880,000	27,500	27,900	19,000	201.77
増減額(B-A)	50,000	140	400	400	—
増減率(%)	6.0	0.5	1.5	2.2	—
(ご参考) 前期実績(2022年3月期)	763,838	24,059	24,554	16,988	178.14

(2) 修正の理由

ITインフラ流通事業では、円安による仕入原価上昇の影響を受けたものの、半導体不足に起因した納期遅延の影響は徐々に解消されつつあり、企業向けの大型案件をはじめ、官公庁・文教分野向けで安定的に受注を獲得し、PCやネットワーク製品を中心に前年を上回る実績となっております。また、iKAZUCHI(雷)を通じたサブスクリプション製品の契約が増加し、ソフトウェアを中心としたクラウドサービスも大幅に伸長しております。文教市場においては、高校向け生徒用端末や小中学校の教職員端末案件が好調に推移し、売上高・営業利益ともに前回予想を上回る見込みです。

繊維事業においては、売上高は予定通り推移しておりますが、原燃料価格高騰や円安によるコストアップの影響により、営業利益が前回予想を下回る見込みです。

これらの結果、2023年3月期の連結業績予想につきまして、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は今回の修正予想値となる見通しです。

2. 配当予想について

(1) 2023年3月期配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		30円00銭	60円00銭
今回修正予想		32円00銭	62円00銭
当期実績	30円00銭		
(ご参考) 前期実績(2022年3月期)	30円00銭	30円00銭	60円00銭

(2) 修正の理由

当社は従来から利益配当を経営の重要課題として位置付けており、業績に応じて内部留保資金の確保を図りながら、継続的かつ安定的な利益還元を行うことを基本方針としております。

この基本方針のもと、事業基盤の確立と安定収益体制の構築に努めた結果、通期の業績見通しは当初の予想を上回る見込みとなりましたので、1株当たり期末配当金をこれまで予想していた30円から2円増配し、1株当たり32円に修正いたします。

なお、本件は2023年6月開催予定の第113回定時株主総会に付議する予定であります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なることがあります。

以上